



|       |   |
|-------|---|
| 名 称   | 株式会社 <b>リそなホールディングス</b> (英文名称 Resona Holdings, Inc.)      |
| 所 在 地 | 東京本社 〒135-8582 東京都江東区木場一丁目5番65号<br>電話 (03) 6704-3111 (代表) |
|       | 大阪本社 〒540-8608 大阪市中央区備後町二丁目2番1号<br>電話 (06) 6268-7400 (代表) |

<http://www.resona-gr.co.jp/>

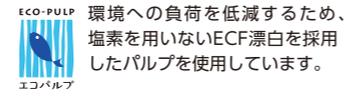
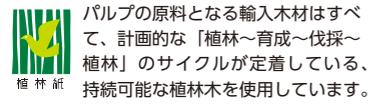
# リそな Today

リそなの“今”と  
“これから”がわかる

- 経営理念
- トップメッセージ
- 経営戦略
- 今後の資本政策『公的資金完済プラン』
- 業績



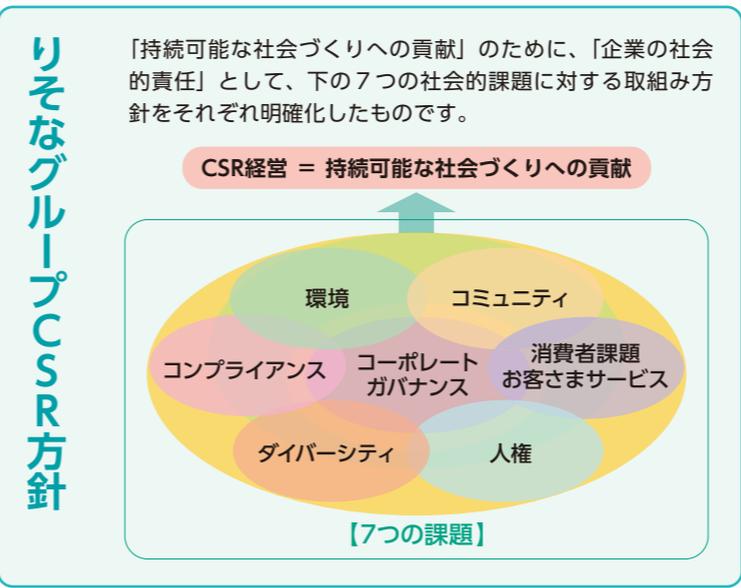
この報告書は、環境に配慮した用紙・インキを使用しています。



証券コード 8308

# りそなグループ経営理念

りそなグループは、創造性に富んだ金融サービス企業を目指し、  
 お客さまの信頼に応えます。  
 変革に挑戦します。  
 透明な経営に努めます。  
 地域社会とともに発展します。



**りそなブランド宣言**

「りそなブランド宣言」は、みなさまへの「約束」を価値として実感いただけるよう表したものです。

**Vision** 私たち「りそな」が目指すもの  
 りそなグループは、ヒューマンコミュニケーションを大切にし、お客さまひとりひとりの“満足を超える感動”を創造する金融サービスグループを目指します。

**Promise** そのために実行すること  
 私たちは、お客さまの期待と信頼にお応えるために、自ら気付き、考え、行動します。  
 きめ細やかなリレーションシップと最適なソリューション、そしてスピード感あるサービスで、お客さまの夢の実現に貢献します。

**Slogan** 「ビジョン」「プロミス」の思いを込めたメッセージ  
 新しいクオリティへ、新しいスピードで。『りそな』  
 HUMAN COMMUNICATION



## Contents

|                           |    |
|---------------------------|----|
| りそなグループ経営理念               | 2  |
| ごあいさつ                     | 4  |
| りそなグループ経営戦略<br>今後の資本政策    | 5  |
| りそなグループの<br>2013年3月期の業績は？ | 10 |
| りそなの強みは？                  | 14 |
| りそなの信託商品は？                | 16 |
| りそなの住宅ローンは？               | 18 |
| りそなのアジアにおける<br>お客さま支援体制は？ | 19 |
| りそなグループの<br>CSRへの取り組みは？   | 20 |
| 財務諸表（連結）                  | 22 |
| 3行の概況／株式の状況               | 24 |
| 株式事務のご案内<br>個人情報のお取扱い     | 26 |

Q よくあるご質問にお答えします。

## ごあいさつ

株式会社 **りそなホールディングス**  
取締役兼代表執行役社長

### 東 和浩



皆さまには、日頃よりりそなグループをお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。ここに、「りそなToday」(第12期りそなグループ報告書)をお届けします。

このたび、本年4月1日付で、りそなホールディングスの取締役兼代表執行役社長及びりそな銀行の代表取締役社長に就任いたしましたことをご報告申し上げます。

2012年度の日本経済は復興需要が景気の下支えとなるとともに、11月以降は解散総選挙、新政権誕生を経て、新たな政策への期待を背景に、企業や消費者の景況感に改善が見られました。

こうした環境下、2012年度のりそなグループ連結ベースの当期純利益は、投資信託販売や市場部門が好調に推移したことに加え、不良債権処理費用や税金費用が減少したことなどにより、前期比214億円増益の2,751億円となりました。これは昨年11月にお示した業績予想を451億円上回る水準であり、9期連続での黒字計上となりました。

りそなグループは、今年で公的資金注入から10

年という節目の年を迎えます。この10年間に、「待ち時間ゼロ運動」や「店舗改革」、「5時まで営業」、「365日年中無休店舗の開設」など、これまでの銀行の常識を打破する、お客さま本位の取組みを中心とした「りそな改革」を断行してまいりました。

本年4月、りそなグループは「次の10年」のスタートにあたり、経営体制を刷新いたしました。新体制においても、お客さまのお役に立つためにりそながあり、「お客さまの喜びがりそなの喜び」であるという基本的な考え方のもと、改革を継続し、グループの機能を総動員することで、お客さまに最適な商品・サービスをスピーディーにご提供する「新しい金融サービス業」のビジネスモデルを構築してまいります。

本年5月、りそなグループは経営の最優先課題の1つである公的資金完済の最終ステージに向けた「公的資金完済プラン」を公表し、本年6月に開催される定時株主総会に関連議案を提出させていただきました。本プランは残存する公的資金8,716億円の完済をより確実にするものであり、これにより、2017年度中を目処にこれまでにご支援いただいた公的資金3兆1,280億円の完済を展望しております。

りそなグループは10年分の感謝を胸に、自立へ向けた第一歩を踏み出します。

りそなグループは、これからも透明性の高い経営を継続し、お客さまとともに前進し、変革を続けてまいります。何卒、今後とも皆さま方の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

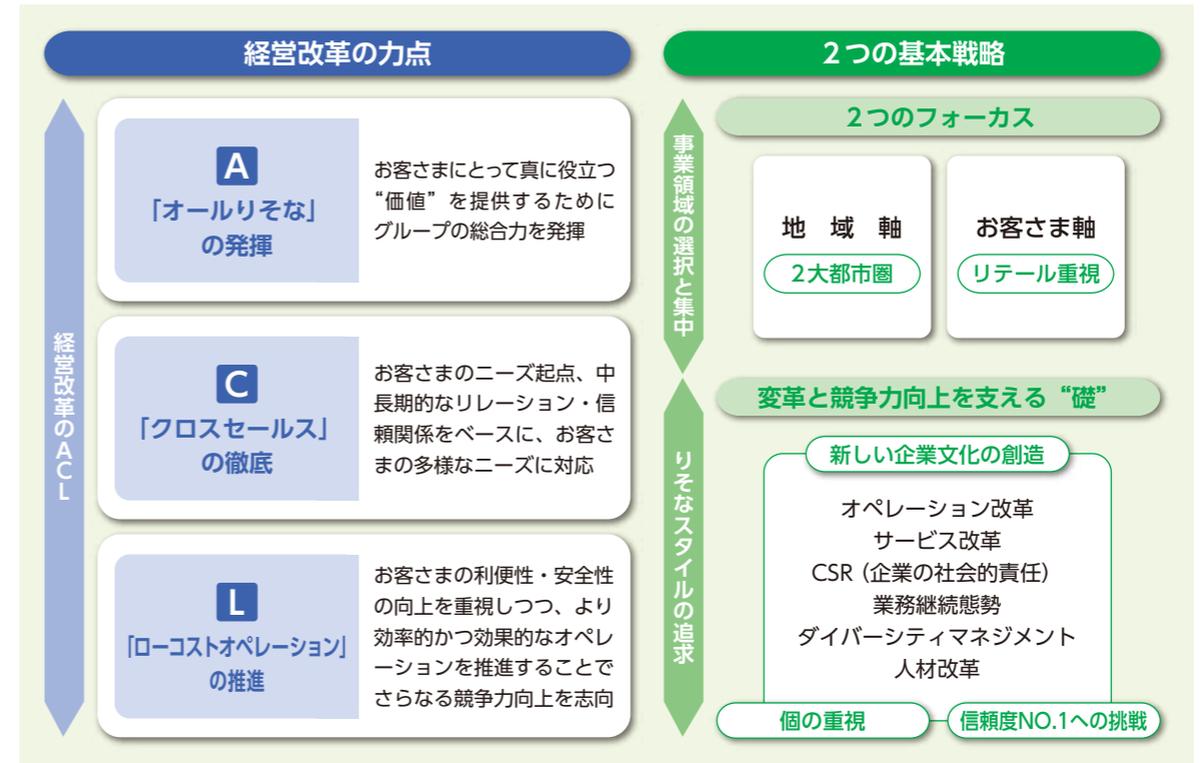
2013年 6月

## りそなグループ経営戦略

# 「新しい金融サービス業」としての ビジネスモデルを構築してまいります。

りそなグループは、2012年11月に新たな「経営の健全化のための計画」を策定・公表いたしました。本計画期間においては、計画全体を貫く力点として経営改革のACLを継続し、国内リテール分野における様々な変化を新たなチャンスと捉え、引き続き2つの基本戦略に取り組みしてまいります。

### 経営改革の力点と2つの基本戦略



事業環境の不確実性が高まるなか、持続的な成長の実現を目指し、4つの重点施策にグループ丸となって取り組んでまいります。

また、営業改革の取組み強化を通じ、戦略領域における4つのLeading Fieldの確立と地域特性・変化に即したリテール・ベストミックスを目指してまいります。

重点施策

4つの重点施策

1 “変化”を見据えた  
新たな収益機会の創出と深掘り

- ① クロスセールのさらなる進化
- ② 「リテール×信託」の戦略的活用
- ③ 新しい機能・商品・サービスの展開

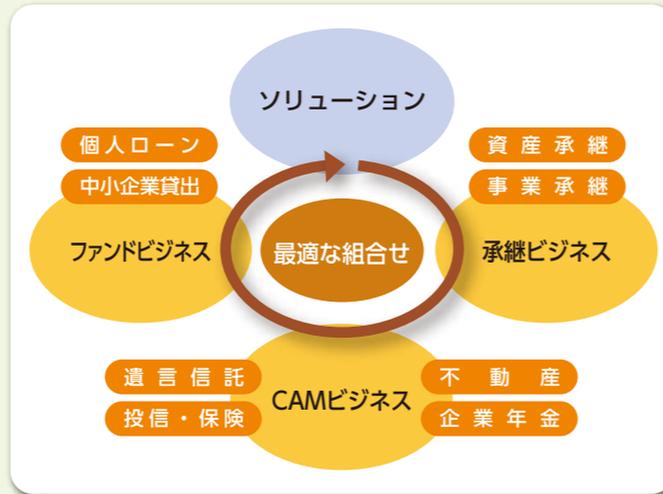
2 お客さま接点の戦略的強化

- ① 地域密着リレーションの強化
- ② マーケティングの高度化
- ③ 一人あたり生産性の向上
- ④ グループチャネルの連携強化

3 ローコストオペレーションの  
さらなる加速

4 持続的成長を支える  
強固な財務基盤の継続

4つのLeading Fieldと地域特性・変化に即したリテール・ベストミックス



営業改革の取組み強化を通じ、当グループが経営資源を集中する戦略領域において4つのLeading Field（「ソリューション」「ファンドビジネス」「承継ビジネス」「CAM（Customer Asset Management）ビジネス」）を確立します。

また、地域特性やお客さまのニーズ等に応じた4つのLeading Fieldの最適な組合せ（「地域特性・変化に即したリテール・ベストミックス」）を実現することで、お客さまから最も支持される金融サービス企業を目指してまいります。

今後の資本政策

『公的資金完済プラン』（2013年5月公表）を策定いたしました。

当社は、これからの10年を展望した新しいステージの第1歩を踏み出すにあたり、今後5年以内に公的資金を完済する確かな道筋をお示すべく、公的資金の完済に向けた最終ステージとして『公的資金完済プラン』（以下、本プランといたします。）を策定いたしました。本プランにおいては、公的資金の完済と普通株主価値の向上を両立させ、全ての株主の皆さまの期待に応えられるものとなりました。

※本プランは本年6月21日に開催予定の定時株主総会および種類株主総会における株主の皆さまのご承認等を前提といたします

本プラン策定の背景

- 1 可能な限り早期に、全ての公的資金を返済することが当社の社会的責務であり、その責務を全うすることにより、当社の企業価値を向上させることが可能であると確信していること。
- 2 当社の資本政策の中心を「公的資金の返済」から「普通株主価値の向上」へと転換させるため、預金保険法優先株式に係る潜在株式数を、早期に、可能な限り減少させる必要があること。早期健全化法優先株式を普通株式の市場価格変動に影響を受けることなく完済する必要があること。
- 3 預金保険法普通株式についても処分の方角性を明らかにすることで、株式需給の不確実性を払拭すべきであること。
- 4 「りそな資本再構築プラン」の想定を上回るスピードで剰余金の蓄積が進んでおり、健全性を維持しつつ、上記の3つの課題を同時に解決する方向性をお示しすることで、全ての株主さまの期待に応えることが可能となってきたこと。

自己資本規制への対応方針

- りそなグループは、国内を中心とする新しい金融サービス業としてのビジネスモデルを確固たるものとするを優先させるため、当面、自己資本規制に関しては、国内基準の適用を継続します。ただし、健全な資本余力を確保するため、国際統一基準を意識した自己資本運営を行います。
- 本プランの前提として、2014年3月実施予定のパーゼル

3国内基準において十分な自己資本を確保するとともに、国際統一基準においても、普通株式等Tier 1比率5.5%程度、Tier1比率7.0%程度を上回る水準を確保することを当面の自己資本運営の目標とします。

●また、関係当局の承認を前提に、自己資本管理高度化の一環として、信用リスクアセットにおけるA-IRB（先進的内部格付手法）の適用に向けた取組みを推進します。

公的資金残高

（単位：億円、注入額残高）

|               | 2003年<br>9月末  | 2013年<br>3月末 | 返済額             |
|---------------|---------------|--------------|-----------------|
| <b>公的資金合計</b> | <b>31,280</b> | <b>8,716</b> | <b>▲ 22,563</b> |
| 優先株式          | 25,315        | 6,100        | ▲ 19,215        |
| 早期健全化法        | 8,680         | 1,600        | ▲ 7,080         |
| 乙種            | 4,080         | —            | ▲ 4,080         |
| 丙種            | 600           | 600          | —               |
| 戊種            | 3,000         | —            | ▲ 3,000         |
| 己種            | 1,000         | 1,000        | —               |
| 預金保険法         | 16,635        | 4,500        | ▲ 12,135        |
| 第1種           | 5,500         | —            | ▲ 5,500         |
| 第2種           | 5,635         | —            | ▲ 5,635         |
| 第3種           | 5,500         | 4,500        | ▲ 1,000         |
| 劣後ローン         | 3,000         | —            | ▲ 3,000         |
| 金融安定化法        | 2,000         | —            | ▲ 2,000         |
| 早期健全化法        | 1,000         | —            | ▲ 1,000         |
| 普通株式          | 2,964         | 2,616        | ▲ 347           |

『公的資金完済プラン』

『公的資金完済プラン』の実施により、今後5年以内で公的資金を完済し、普通株主価値の向上に努めます。

本プランの概要

本プラン実施に向けた具体的な取組み

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <p><b>早期健全化法優先株式</b><br/>1,600億円</p> | <p><b>普通株式の市場価格変動に影響を受けることなく完済</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 普通株式への一斉転換日を延長し、5年程度で分割返済</li> <li>● 2013年度末分から特別優先配当を通じ、毎年度320億円返済</li> </ul>                   |
| <p><b>預金保険法優先株式</b><br/>4,500億円</p>  | <p><b>従来方針通り買入消却を進め潜在株式を解消</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2013年度中に一部買入消却（取得額ベース上限3,000億円）</li> <li>■ 残存部分も2017年度末までを目処に買入消却を通じ完済する方針</li> </ul>                |
| <p><b>預金保険法普通株式</b><br/>2,616億円</p>  | <p><b>処分の方向性を明らかにすることで株式需給の不確実性を払拭</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2013年度中に一部買入消却（取得額ベース上限1,000億円）</li> <li>■ 残存部分は上記終了後、速やかに預金保険機構に対して処分の申出を行うことを予定</li> </ul> |
| <p><b>株主さまへの利益還元</b></p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 預金保険法普通株式の一部買入消却（取得額ベース上限1,000億円）</li> <li>■ 2013年度末分から普通株式の年間配当を25%増配（1株あたり12円から15円に増配）</li> </ul>                                     |
| <p><b>その他</b></p>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 普通株式の授権枠の削減</li> <li>■ 資本勘定内の振替による公的資金の返済財源の確保</li> </ul>   |

公的資金完済と普通株主価値の向上の両立

完済までの返済アプローチや時間軸を明確化

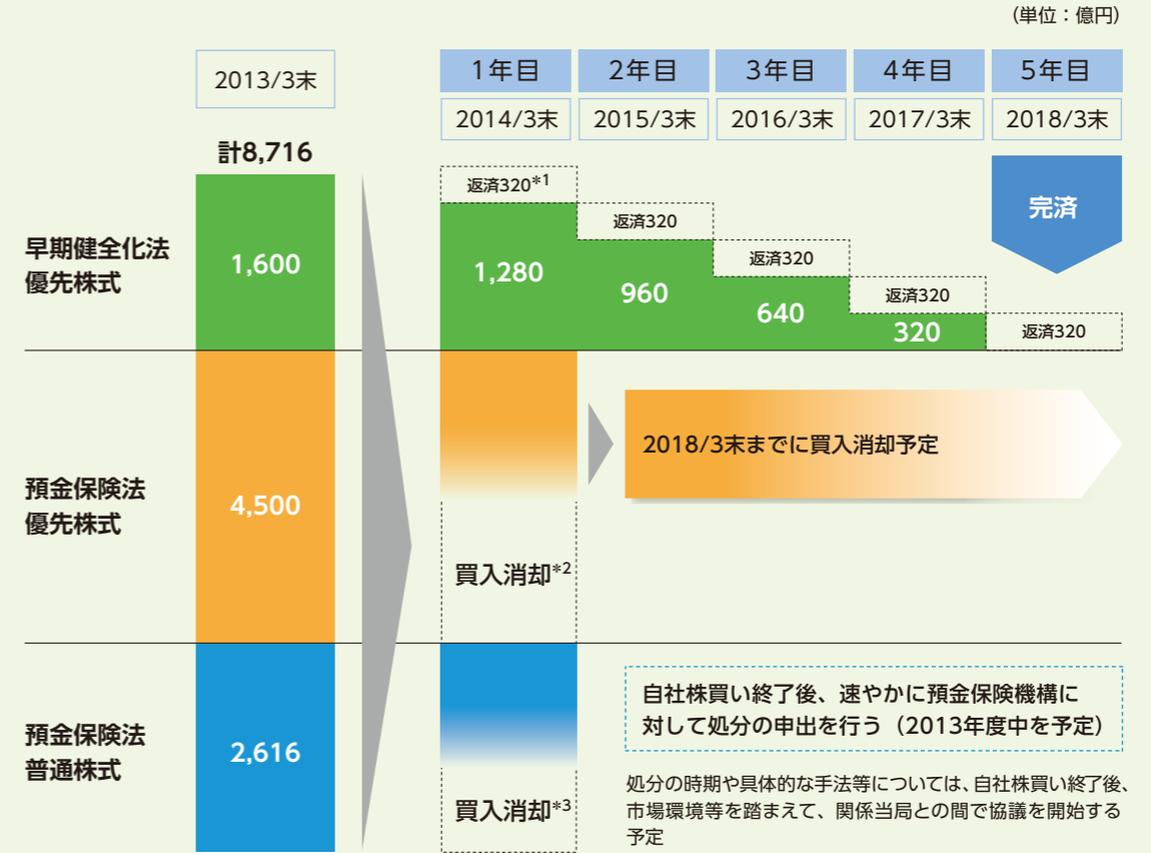
潜在株式の解消

株式需給の不確実性の払拭

株主さまへの利益還元の実施（自社株買い／増配）

当面は、普通株式等Tier1比率5.5%程度、Tier1比率7.0%程度を上回る水準を確保（国際統一基準）

—— 公的資金残高の推移（イメージ） ——



\*1 \*3の取得終了後、実施予定  
\*2 取得総額は上限3,000億円  
\*3 取得総額は上限1,000億円

# Q | リソナグループの2013年3月期の業績は？

※金額については単位未満を切捨て表示しております。

**連結当期純利益は、与信費用や税金費用が減少したことなどにより、前期比214億円の増益となる2,751億円となりました。**

## 損益の状況 (リソナホールディングス連結)

(単位：億円)

|             | 2011年3月期 | 2012年3月期 | 2013年3月期     | 前期比         |
|-------------|----------|----------|--------------|-------------|
| 連結粗利益       | 6,670    | 6,552    | <b>6,371</b> | <b>△180</b> |
| 資金利益*1      | 4,840    | 4,639    | <b>4,430</b> | <b>△209</b> |
| 信託報酬        | 259      | 234      | <b>216</b>   | <b>△18</b>  |
| 役務取引等利益*2   | 1,208    | 1,196    | <b>1,289</b> | <b>+93</b>  |
| その他業務粗利益    | 361      | 480      | <b>434</b>   | <b>△45</b>  |
| 営業経費        | △3,694   | △3,609   | △3,616       | △7          |
| 株式関係損益      | △8       | 23       | △75          | △98         |
| 与信費用総額*3    | △615     | △138     | <b>130</b>   | <b>+268</b> |
| その他損益等      | 18       | △95      | <b>32</b>    | <b>+128</b> |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,371    | 2,732    | <b>2,843</b> | <b>+110</b> |
| 税金費用ほか      | △770     | △196     | △92          | +104        |
| 当期純利益       | 1,600    | 2,536    | <b>2,751</b> | <b>+214</b> |

連結粗利益は、利回りの低下を主因として資金利益が減少するなか、金融商品販売や債券売却益などにより、利益の確保に努めました。

与信費用総額は、新規発生が低水準であったことに加え、一般貸引当金が戻入となったこと等から、前期比268億円改善いたしました。

税金費用は、税効果会計に係る会社例示区分の見直し等により減少しました。

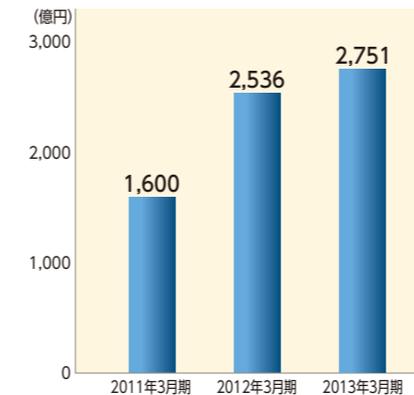
### 用語解説

- \*1 資金利益 貸出や有価証券運用などによる収入から、預金利息などの費用を差し引いた収支のことです。
- \*2 役務取引等利益 投資信託の販売やお振込、不動産仲介など、サービス提供の対価としてお客さまから頂く手数料収入のことです。
- \*3 与信費用総額 貸出金などに対する貸引当金の計上や償却処理に要した費用のことです。貸引当金の戻入や償却債権取立益をネットした計数を表示しています。

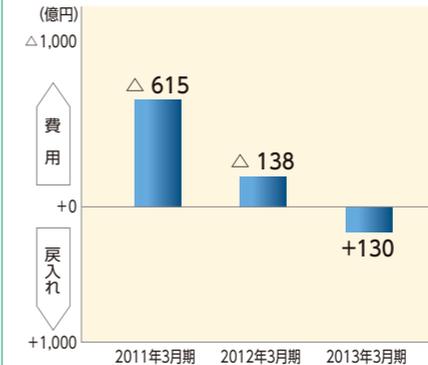
## 連結粗利益



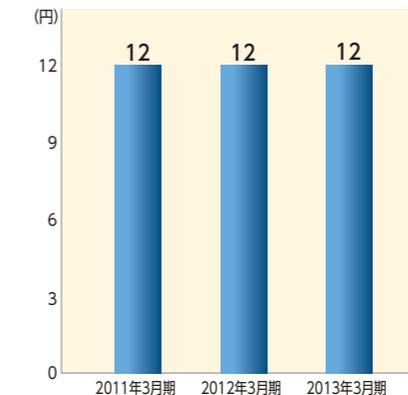
## 当期純利益



## 与信費用総額



## 普通株式1株当たり年間配当金





# りそなグループの2013年3月期の業績は？

## 資産・負債の状況

**貸出金残高は4期ぶりに増加、自己資本比率は適切な水準を維持しています。**

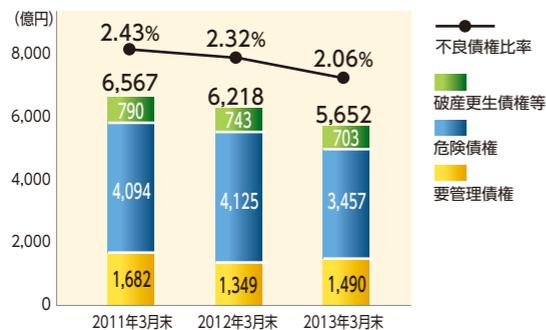
### 貸出金残高 (傘下銀行合算)

貸出金残高は、4期ぶりに増加しました。



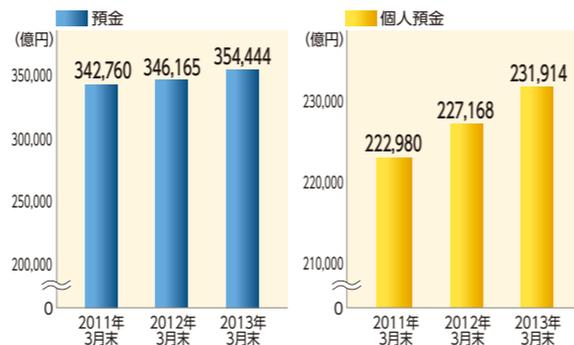
### 不良債権および不良債権比率 (傘下銀行合算・金融再生法基準)

不良債権比率は、着実に減少しています。



### 預金残高 (傘下銀行合算)

個人預金は、増加トレンドを維持しています。



### 自己資本比率 (連結)

自己資本比率は、14.67% (速報値) に上昇、適切な水準を維持しています。



## 主要ビジネス ~Leading Field~の状況

**個人のお客さまの生活設計サポート、法人のお客さまの経営課題解決に「オールりそな」で取り組みました。**

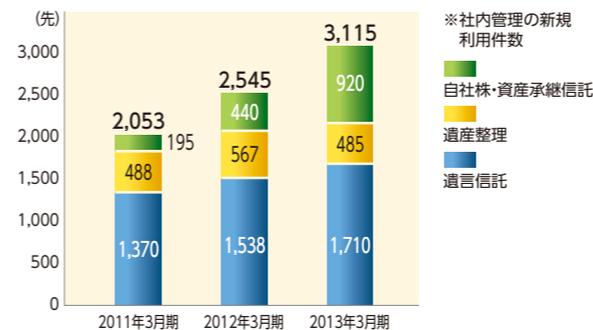
### 住宅ローン (傘下銀行合算)

住宅ローン残高は順調に増加しました。



### 資産承継ビジネス (りそな銀行)

「リテール×信託」が浸透、利用件数が順調に増加しました。



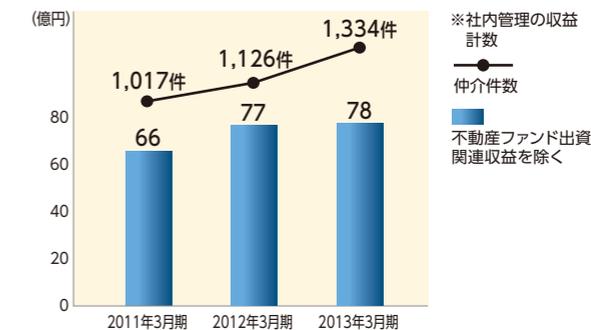
### 金融商品販売 (傘下銀行合算)

投資信託、保険ともに販売額が増加しました。



### 不動産業務 (りそな銀行)

幅広い店舗ネットワーク、お客さま基盤を活かした不動産情報の収集に努め、仲介件数、手数料が増加しました。



経営戦略  
資本政策  
主要ビジネス  
財務諸表(連結)  
3行の概況  
株式の状況  
個人情報のご案内

**りそなグループは、『2大都市圏』、『リテール業務』にフォーカス。  
 約1,300万のお客さま基盤と『信託』を活かした独自のサービスが強みです。**

- 約1,300万のお客さま基盤
- 首都圏、関西圏に堅固な基盤
- 地域特性に応じた業務運営

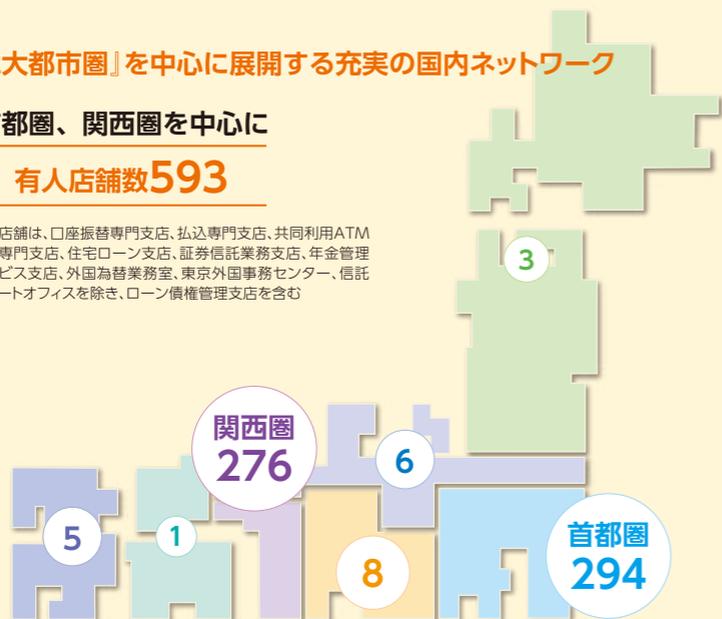


- 高齢社会に最適なサービスをご提供  
\* 遺言信託、資産承継信託など
- りそな銀行本体で不動産業務が可能

■『2大都市圏』を中心に展開する充実の国内ネットワーク

首都圏、関西圏を中心に  
**有人店舗数593**

※有人店舗は、口座振替専門支店、払込専門支店、共同利用ATM管理専門支店、住宅ローン支店、証券信託業務支店、年金管理サービス支店、外国為替業務室、東京外国事務センター、信託サポートオフィスを除き、ローン債権管理支店を含む



りそなグループのATMは  
**7,699台**

※バンクタイム含む

提携コンビニATMは  
**40,554台**

**お客さまの視点で業務を見直し  
 さまざまなサービス改革を進めています。**

代表的な例についてご紹介しています。  
 銀行・店舗によって一部構成が異なる場合があります。

**1 『待ち時間ゼロ』の店舗を目指しています。**

次世代型店舗の拡充、コミュニケーション端末の配備等で、お客さまの利便性とコスト削減を両立する店舗改革を実現しました。

**クイックナビ**

税金、振込、振替などを窓口専用ATMで承ります。書類のご記入が不要となり、スピーディーなお手続きが可能になりました。



クイックナビは特許を取得しています。

**コミュニケーションブース**

落ち着いた雰囲気ブースで、専門の担当者が、ご新規や資産運用のご相談を承ります。

**コミュニケーション端末**

生体認証ICキャッシュカードとタッチパネルの利用で従来より「安心」「便利」に。通帳・印鑑のご持参や面倒な書類記入が不要になりました。



**2 お客さまとの接点の拡充を目指しています。**

りそな銀行、埼玉りそな銀行は**平日17時まで営業**しています。



写真は埼玉りそな銀行 与野支店の様子

**年中無休の店舗**でじっくりご相談いただけます。(事前予約制)



りそな銀行 セブンデイズプラザうめきた  
**年中無休 (365日) 19時まで営業**しています。



近畿大阪銀行 うめだプラザnanoka  
**週7日、平日19時、土日17時まで営業**しています。  
※年末年始、GWは除きます。

# Q | リソナグループの強み、商品・サービス

## リソナの信託商品は？

リソナグループは、「未来に 安心をつなぐ」  
信託サービスをご提供しております。

### ニーズを踏まえたパッケージ商品

お客さまのニーズが多い機能をパッケージ化して、  
ご利用いただき易くした商品です。



資金を上手に  
運用したい  
実績配当型金銭信託  
『信託のチカラ』



家族に迷惑をかけたくない  
「ありがとう」を伝えたい  
『ハートトラスト  
心の信託』

孫の夢を  
後押ししたい  
リソナの  
『きょういく信託』



社会に貢献したい  
特定寄附信託  
『応援の絆』

被後見人の資金を  
適切に管理したい  
『後見制度支援信託』



リソナ銀行のオリジナルエンディングノート

※各商品のご利用時には所定の手数料や信託報酬を申し受けます。なお、商品によっては相場変動などにより元本の欠損が生じるおそれがあります。また、審査によりご希望に沿えない場合がございます。(株式会社リソナ銀行)

### オーダーメイドでお応えする商品

お客さまのご希望を個別におうかがいして、  
ご希望に沿うよう内容を決めていく商品です。

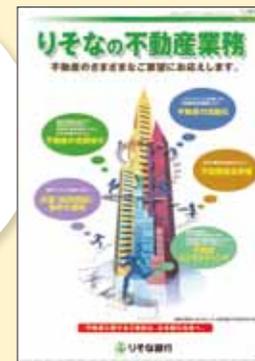
相続の準備  
万々に備えたい  
『遺言信託』



衰えに備えたい  
万々に備えたい  
『マイトラスト  
未来安心図』



不動産について  
相談したい  
『不動産仲介・  
コンサルティング』



円滑に事業を  
承継したい  
『自社株承継信託』  
(会社のオーナーさま向け商品)

リソナ銀行は「地域密着」の「商業銀行」でありながら、フルラインの信託機能を  
有する唯一の銀行であり、さまざまな信託商品を取りそろえております。

埼玉リソナ銀行、近畿大阪銀行も、リソナ銀行の代理店として主要な信託商品を取り扱っています。  
(詳しくは店頭でご確認ください。)

# Q リそなの住宅ローンは？

リそなグループの強み、商品・サービス

歴史的に強みを持つ住宅ローンをさらに強化、多彩な商品を提供しています。

※商品の一例です。銀行ごとに取扱い商品が異なりますので、詳細は、店頭あるいはホームページでご確認ください。

## ワイド団信プラン

通常の団体信用生命保険よりも引受範囲を拡大しました。



## 女性向け専用住宅ローン

女性の素敵な決断を応援する住宅ローンです。



## 3大疾病保障特約付住宅ローン

「がん」「急性心筋梗塞」「脳卒中」と診断されると保険金が支払われます。



## 各種住宅ローン 各種リフォームローン等

省エネ・エコロジーを応援しています。



住宅ローン専門拠点の休日営業を拡大。  
76カ所の拠点中、51カ所で休日営業を行っています。

休日営業拠点は、約4倍に増加しました。



平日ご来店いただけないお客さまのニーズに応え、今後も順次増やしていきます。

住宅ローン専門拠点 (2013年4月末現在)

リそな銀行 休日営業拠点 **42カ所**  
(拠点数 44カ所)

埼玉りそな銀行 休日営業拠点 **7カ所**  
(拠点数 18カ所)

近畿大阪銀行 休日営業拠点 **2カ所**  
(拠点数 14カ所)

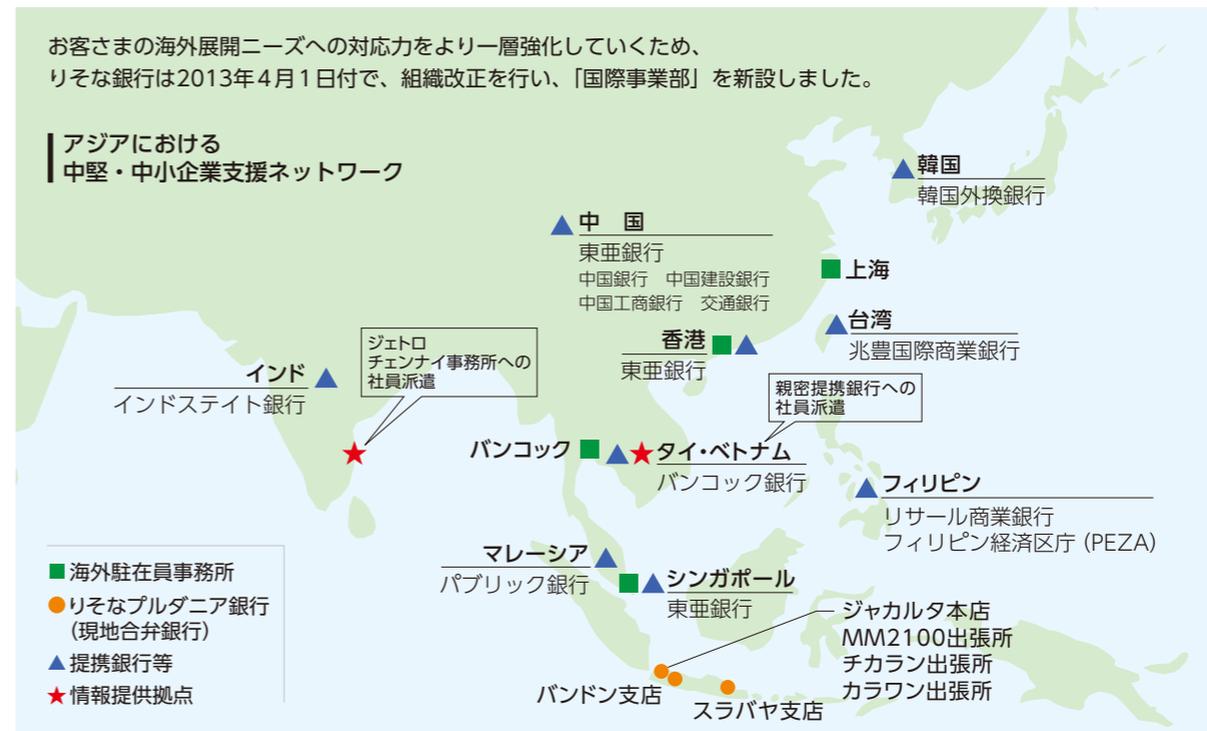
# Q リそなのアジアにおけるお客さま支援体制は？

リそなグループの強み、商品・サービス

アジア各国・地域の駐在員事務所、リそなプルダニア銀行(インドネシア)、および提携銀行の活用により、中堅・中小企業のお取引先の多様なニーズにきめ細かく対応しております。

お客さまの海外展開ニーズへの対応力をより一層強化していくため、リそな銀行は2013年4月1日付で、組織改正を行い、「国際事業部」を新設しました。

## アジアにおける 中堅・中小企業支援ネットワーク



グループで各種ファンドを取扱い、お客さまの海外進出に関連する資金ニーズにお応えしています。

- アジアビジネスサポートファンド (埼玉りそな銀行)
- リそな成長分野応援ファンド (米ドル) (りそな銀行)
- リそな海外戦略支援ファンド (りそな銀行)

# Q | リソナグループの強み、商品・サービス リソナグループのCSRへの取り組みは？

リソナグループは、「持続可能な社会づくり」のために、さまざまなCSR活動を実践しています。

## 地域経済の活性化のために

### 『第3回 ネットワーク商談会 IN 大阪』



魅力ある食材をお持ちの売り手企業と、関西圏を中心とする買い手企業とのご商談の場を提供しました。

### リソナ銀行×JOBカフェ大阪『合同企業説明会』



「採用意欲が旺盛な成長企業」と、地元関西の若者との出会いの場を創出しています。

### 『農と食の展示・商談会2013』



2009年2月に初めて開催して以来、県内最大級の「食」のイベントとして定着しています。

## 次世代の育成のために

### エコノミクス甲子園

NPO法人金融知力普及協会と共同し、全国高校生金融経済クイズ選手権『エコノミクス甲子園』を開催しました。2012年には3大会合わせて112名の高校生が全国大会を目指して金融知力を競いました。



埼玉大会 (主催：埼玉りそな銀行) 東京大会 (主催：りそな銀行) 大阪大会 (主催：りそな銀行/近畿大阪銀行)

### 奨学金支援

日本と海外を繋ぐ大学生を、奨学金制度で支援しています。



りそな銀行 インドネシア大学 人文学部日本語学科の学生を支援しています。

りそな銀行 香港大学文学部日本研究学科の学生を支援しています。

### 『Re:Heart(リハート)倶楽部』が発足しました。

グループ発足10周年を機に、これまで各地域で取り組んできた社会貢献活動をさらに発展させようと、2012年10月、『Re:Heart倶楽部』を発足しました。「地域コミュニティの活性化」「環境保全」など、地域社会に潜む課題の解決に向けたボランティア活動を企画し、活動しています。



『リソナの絆』～被災地植樹プロジェクト～ (りそなグループ)



荒川河川敷のクリーンアップ (りそな銀行 首都圏地域)



所沢航空記念公園 写真講習&撮影会 (埼玉りそな銀行 埼玉西地域)



「青梅マラソン」運営ボランティア (りそな銀行 多摩地域)



春木川・轟川の河川流域でのゴミの回収 (りそな銀行 大阪公務部他)



福祉施設通所者の介助ボランティア (近畿大阪銀行 大阪南地域)



「京都マラソン2013」運営ボランティア (りそな銀行 京都・滋賀営業本部、近畿大阪銀行 京都支店)



春日若宮おん祭の「お渡り式」(行列)に参加 (りそな銀行 奈良地域)



神戸南京町「春節祭」で路上イベントのサポート (りそな銀行 ひょうご地域)

連結貸借対照表

|   | 2012年3月31日現在   |                | 2013年3月31日現在 |              |
|---|----------------|----------------|--------------|--------------|
|   | 2012年3月31日現在   | 2013年3月31日現在   | 2012年3月31日現在 | 2013年3月31日現在 |
| <b>資産の部</b>   |                |                |              |              |
| 現金預け金   | 27,077         | 33,861         |              |              |
| コールローン及び買入手形  | 2,463          | 1,838          |              |              |
| 買入金銭債権  | 4,397          | 3,765          |              |              |
| 特定取引資産  | 6,965          | 7,871          |              |              |
| 金銭の信託   | —              | 2              |              |              |
| 有価証券  | 113,358        | 101,815        |              |              |
| 貸出金   | 257,826        | 264,901        |              |              |
| 外国為替  | 763            | 677            |              |              |
| その他資産   | 11,580         | 8,760          |              |              |
| 有形固定資産  | 3,070          | 3,073          |              |              |
| 建物  | 1,032          | 1,033          |              |              |
| 土地  | 1,900          | 1,896          |              |              |
| リース資産   | 15             | 29             |              |              |
| 建設仮勘定   | 11             | 11             |              |              |
| その他の有形固定資産  | 110            | 101            |              |              |
| 無形固定資産  | 518            | 434            |              |              |
| ソフトウェア  | 108            | 88             |              |              |
| リース資産   | 356            | 293            |              |              |
| その他の無形固定資産  | 53             | 52             |              |              |
| 繰延税金資産  | 1,693          | 1,762          |              |              |
| 支払承諾見返  | 6,084          | 5,398          |              |              |
| 貸倒引当金   | △ 3,798        | △ 3,055        |              |              |
| 投資損失引当金   | △ 3            | △ 1            |              |              |
| <b>資産の部合計</b>   | <b>431,998</b> | <b>431,106</b> |              |              |
| <b>負債の部</b>   |                |                |              |              |
| 預金  | 345,236        | 353,848        |              |              |
| 譲渡性預金   | 13,375         | 13,014         |              |              |
| コールマネー及び売渡手形  | 4,085          | 2,506          |              |              |
| 売現先勘定   | 119            | 389            |              |              |
| 債券貸借取引受入担保金   | 3,450          | —              |              |              |
| 特定取引負債  | 2,732          | 3,460          |              |              |
| 借入金   | 15,129         | 6,718          |              |              |
| 外国為替  | 20             | 14             |              |              |
| 社債  | 7,970          | 7,164          |              |              |
| 信託勘定借   | 3,548          | 4,487          |              |              |
| その他負債   | 10,895         | 11,264         |              |              |
| 賞与引当金   | 139            | 181            |              |              |
| 退職給付引当金   | 124            | 129            |              |              |
| その他の引当金   | 413            | 395            |              |              |
| 繰延税金負債  | 1              | 2              |              |              |
| 再評価に係る繰延税金負債  | 237            | 236            |              |              |
| 支払承諾  | 6,084          | 5,398          |              |              |
| <b>負債の部合計</b>   | <b>413,565</b> | <b>409,213</b> |              |              |
| <b>純資産の部</b>  |                |                |              |              |
| 資本金   | 3,404          | 3,404          |              |              |
| 資本剰余金   | 2,370          | 2,370          |              |              |
| 利益剰余金   | 10,866         | 13,154         |              |              |
| 自己株式  | △ 868          | △ 895          |              |              |
| <b>株主資本合計</b>   | <b>15,773</b>  | <b>18,034</b>  |              |              |
| <sup>1</sup> <sup>2</sup> <sup>3</sup> <sup>4</sup> <sup>5</sup> <sup>6</sup> <sup>7</sup> <sup>8</sup> <sup>9</sup> <sup>10</sup> <sup>11</sup> <sup>12</sup> <sup>13</sup> <sup>14</sup> <sup>15</sup> <sup>16</sup> <sup>17</sup> <sup>18</sup> <sup>19</sup> <sup>20</sup> <sup>21</sup> <sup>22</sup> <sup>23</sup> <sup>24</sup> <sup>25</sup> <sup>26</sup> <sup>27</sup> <sup>28</sup> <sup>29</sup> <sup>30</sup> <sup>31</sup> <sup>32</sup> <sup>33</sup> <sup>34</sup> <sup>35</sup> <sup>36</sup> <sup>37</sup> <sup>38</sup> <sup>39</sup> <sup>40</sup> <sup>41</sup> <sup>42</sup> <sup>43</sup> <sup>44</sup> <sup>45</sup> <sup>46</sup> <sup>47</sup> <sup>48</sup> <sup>49</sup> <sup>50</sup> <sup>51</sup> <sup>52</sup> <sup>53</sup> <sup>54</sup> <sup>55</sup> <sup>56</sup> <sup>57</sup> <sup>58</sup> <sup>59</sup> <sup>60</sup> <sup>61</sup> <sup>62</sup> <sup>63</sup> <sup>64</sup> <sup>65</sup> <sup>66</sup> <sup>67</sup> <sup>68</sup> <sup>69</sup> <sup>70</sup> <sup>71</sup> <sup>72</sup> <sup>73</sup> <sup>74</sup> <sup>75</sup> <sup>76</sup> <sup>77</sup> <sup>78</sup> <sup>79</sup> <sup>80</sup> <sup>81</sup> <sup>82</sup> <sup>83</sup> <sup>84</sup> <sup>85</sup> <sup>86</sup> <sup>87</sup> <sup>88</sup> <sup>89</sup> <sup>90</sup> <sup>91</sup> <sup>92</sup> <sup>93</sup> <sup>94</sup> <sup>95</sup> <sup>96</sup> <sup>97</sup> <sup>98</sup> <sup>99</sup> <sup>100</sup> <sup>101</sup> <sup>102</sup> <sup>103</sup> <sup>104</sup> <sup>105</sup> <sup>106</sup> <sup>107</sup> <sup>108</sup> <sup>109</sup> <sup>110</sup> <sup>111</sup> <sup>112</sup> <sup>113</sup> <sup>114</sup> <sup>115</sup> <sup>116</sup> <sup>117</sup> <sup>118</sup> <sup>119</sup> <sup>120</sup> <sup>121</sup> <sup>122</sup> <sup>123</sup> <sup>124</sup> <sup>125</sup> <sup>126</sup> <sup>127</sup> <sup>128</sup> <sup>129</sup> <sup>130</sup> <sup>131</sup> <sup>132</sup> <sup>133</sup> <sup>134</sup> <sup>135</sup> <sup>136</sup> <sup>137</sup> <sup>138</sup> <sup>139</sup> <sup>140</sup> <sup>141</sup> <sup>142</sup> <sup>143</sup> <sup>144</sup> <sup>145</sup> <sup>146</sup> <sup>147</sup> <sup>148</sup> <sup>149</sup> <sup>150</sup> <sup>151</sup> <sup>152</sup> <sup>153</sup> <sup>154</sup> <sup>155</sup> <sup>156</sup> <sup>157</sup> <sup>158</sup> <sup>159</sup> <sup>160</sup> <sup>161</sup> <sup>162</sup> <sup>163</sup> <sup>164</sup> <sup>165</sup> <sup>166</sup> <sup>167</sup> <sup>168</sup> <sup>169</sup> <sup>170</sup> <sup>171</sup> <sup>172</sup> <sup>173</sup> <sup>174</sup> <sup>175</sup> <sup>176</sup> <sup>177</sup> <sup>178</sup> <sup>179</sup> <sup>180</sup> <sup>181</sup> <sup>182</sup> <sup>183</sup> <sup>184</sup> <sup>185</sup> <sup>186</sup> <sup>187</sup> <sup>188</sup> <sup>189</sup> <sup>190</sup> <sup>191</sup> <sup>192</sup> <sup>193</sup> <sup>194</sup> <sup>195</sup> <sup>196</sup> <sup>197</sup> <sup>198</sup> <sup>199</sup> <sup>200</sup> <sup>201</sup> <sup>202</sup> <sup>203</sup> <sup>204</sup> <sup>205</sup> <sup>206</sup> <sup>207</sup> <sup>208</sup> <sup>209</sup> <sup>210</sup> <sup>211</sup> <sup>212</sup> <sup>213</sup> <sup>214</sup> <sup>215</sup> <sup>216</sup> <sup>217</sup> <sup>218</sup> <sup>219</sup> <sup>220</sup> <sup>221</sup> <sup>222</sup> <sup>223</sup> <sup>224</sup> <sup>225</sup> <sup>226</sup> <sup>227</sup> <sup>228</sup> <sup>229</sup> <sup>230</sup> <sup>231</sup> <sup>232</sup> <sup>233</sup> <sup>234</sup> <sup>235</sup> <sup>236</sup> <sup>237</sup> <sup>238</sup> <sup>239</sup> <sup>240</sup> <sup>241</sup> <sup>242</sup> <sup>243</sup> <sup>244</sup> <sup>245</sup> <sup>246</sup> <sup>247</sup> <sup>248</sup> <sup>249</sup> <sup>250</sup> <sup>251</sup> <sup>252</sup> <sup>253</sup> <sup>254</sup> <sup>255</sup> <sup>256</sup> <sup>257</sup> <sup>258</sup> <sup>259</sup> <sup>260</sup> <sup>261</sup> <sup>262</sup> <sup>263</sup> <sup>264</sup> <sup>265</sup> <sup>266</sup> <sup>267</sup> <sup>268</sup> <sup>269</sup> <sup>270</sup> <sup>271</sup> <sup>272</sup> <sup>273</sup> <sup>274</sup> <sup>275</sup> <sup>276</sup> <sup>277</sup> <sup>278</sup> <sup>279</sup> <sup>280</sup> <sup>281</sup> <sup>282</sup> <sup>283</sup> <sup>284</sup> <sup>285</sup> <sup>286</sup> <sup>287</sup> <sup>288</sup> <sup>289</sup> <sup>290</sup> <sup>291</sup> <sup>292</sup> <sup>293</sup> <sup>294</sup> <sup>295</sup> <sup>296</sup> <sup>297</sup> <sup>298</sup> <sup>299</sup> <sup>300</sup> <sup>301</sup> <sup>302</sup> <sup>303</sup> <sup>304</sup> <sup>305</sup> <sup>306</sup> <sup>307</sup> <sup>308</sup> <sup>309</sup> <sup>310</sup> <sup>311</sup> <sup>312</sup> <sup>313</sup> <sup>314</sup> <sup>315</sup> <sup>316</sup> <sup>317</sup> <sup>318</sup> <sup>319</sup> <sup>320</sup> <sup>321</sup> <sup>322</sup> <sup>323</sup> <sup>324</sup> <sup>325</sup> <sup>326</sup> <sup>327</sup> <sup>328</sup> <sup>329</sup> <sup>330</sup> <sup>331</sup> <sup>332</sup> <sup>333</sup> <sup>334</sup> <sup>335</sup> <sup>336</sup> <sup>337</sup> <sup>338</sup> <sup>339</sup> <sup>340</sup> <sup>341</sup> <sup>342</sup> <sup>343</sup> <sup>344</sup> <sup>345</sup> <sup>346</sup> <sup>347</sup> <sup>348</sup> <sup>349</sup> <sup>350</sup> <sup>351</sup> <sup>352</sup> <sup>353</sup> <sup>354</sup> <sup>355</sup> <sup>356</sup> <sup>357</sup> <sup>358</sup> <sup>359</sup> <sup>360</sup> <sup>361</sup> <sup>362</sup> <sup>363</sup> <sup>364</sup> <sup>365</sup> <sup>366</sup> <sup>367</sup> <sup>368</sup> <sup>369</sup> <sup>370</sup> <sup>371</sup> <sup>372</sup> <sup>373</sup> <sup>374</sup> <sup>375</sup> <sup>376</sup> <sup>377</sup> <sup>378</sup> <sup>379</sup> <sup>380</sup> <sup>381</sup> <sup>382</sup> <sup>383</sup> <sup>384</sup> <sup>385</sup> <sup>386</sup> <sup>387</sup> <sup>388</sup> <sup>389</sup> <sup>390</sup> <sup>391</sup> <sup>392</sup> <sup>393</sup> <sup>394</sup> <sup>395</sup> <sup>396</sup> <sup>397</sup> <sup>398</sup> <sup>399</sup> <sup>400</sup> <sup>401</sup> <sup>402</sup> <sup>403</sup> <sup>404</sup> <sup>405</sup> <sup>406</sup> <sup>407</sup> <sup>408</sup> <sup>409</sup> <sup>410</sup> <sup>411</sup> <sup>412</sup> <sup>413</sup> <sup>414</sup> <sup>415</sup> <sup>416</sup> <sup>417</sup> <sup>418</sup> <sup>419</sup> <sup>420</sup> <sup>421</sup> <sup>422</sup> <sup>423</sup> <sup>424</sup> <sup>425</sup> <sup>426</sup> <sup>427</sup> <sup>428</sup> <sup>429</sup> <sup>430</sup> <sup>431</sup> <sup>432</sup> <sup>433</sup> <sup>434</sup> <sup>435</sup> <sup>436</sup> <sup>437</sup> <sup>438</sup> <sup>439</sup> <sup>440</sup> <sup>441</sup> <sup>442</sup> <sup>443</sup> <sup>444</sup> <sup>445</sup> <sup>446</sup> <sup>447</sup> <sup>448</sup> <sup>449</sup> <sup>450</sup> <sup>451</sup> <sup>452</sup> <sup>453</sup> <sup>454</sup> <sup>455</sup> <sup>456</sup> <sup>457</sup> <sup>458</sup> <sup>459</sup> <sup>460</sup> <sup>461</sup> <sup>462</sup> <sup>463</sup> <sup>464</sup> <sup>465</sup> <sup>466</sup> <sup>467</sup> <sup>468</sup> <sup>469</sup> <sup>470</sup> <sup>471</sup> <sup>472</sup> <sup>473</sup> <sup>474</sup> <sup>475</sup> <sup>476</sup> <sup>477</sup> <sup>478</sup> <sup>479</sup> <sup>480</sup> <sup>481</sup> <sup>482</sup> <sup>483</sup> <sup>484</sup> <sup>485</sup> <sup>486</sup> <sup>487</sup> <sup>488</sup> <sup>489</sup> <sup>490</sup> <sup>491</sup> <sup>492</sup> <sup>493</sup> <sup>494</sup> <sup>495</sup> <sup>496</sup> <sup>497</sup> <sup>498</sup> <sup>499</sup> <sup>500</sup> <sup>501</sup> <sup>502</sup> <sup>503</sup> <sup>504</sup> <sup>505</sup> <sup>506</sup> <sup>507</sup> <sup>508</sup> <sup>509</sup> <sup>510</sup> <sup>511</sup> <sup>512</sup> <sup>513</sup> <sup>514</sup> <sup>515</sup> <sup>516</sup> <sup>517</sup> <sup>518</sup> <sup>519</sup> <sup>520</sup> <sup>521</sup> <sup>522</sup> <sup>523</sup> <sup>524</sup> <sup>525</sup> <sup>526</sup> <sup>527</sup> <sup>528</sup> <sup>529</sup> <sup>530</sup> <sup>531</sup> <sup>532</sup> <sup>533</sup> <sup>534</sup> <sup>535</sup> <sup>536</sup> <sup>537</sup> <sup>538</sup> <sup>539</sup> <sup>540</sup> <sup>541</sup> <sup>542</sup> <sup>543</sup> <sup>544</sup> <sup>545</sup> <sup>546</sup> <sup>547</sup> <sup>548</sup> <sup>549</sup> <sup>550</sup> <sup>551</sup> <sup>552</sup> <sup>553</sup> <sup>554</sup> <sup>555</sup> <sup>556</sup> <sup>557</sup> <sup>558</sup> <sup>559</sup> <sup>560</sup> <sup>561</sup> <sup>562</sup> <sup>563</sup> <sup>564</sup> <sup>565</sup> <sup>566</sup> <sup>567</sup> <sup>568</sup> <sup>569</sup> <sup>570</sup> <sup>571</sup> <sup>572</sup> <sup>573</sup> <sup>574</sup> <sup>575</sup> <sup>576</sup> <sup>577</sup> <sup>578</sup> <sup>579</sup> <sup>580</sup> <sup>581</sup> <sup>582</sup> <sup>583</sup> <sup>584</sup> <sup>585</sup> <sup>586</sup> <sup>587</sup> <sup>588</sup> <sup>589</sup> <sup>590</sup> <sup>591</sup> <sup>592</sup> <sup>593</sup> <sup>594</sup> <sup>595</sup> <sup>596</sup> <sup>597</sup> <sup>598</sup> <sup>599</sup> <sup>600</sup> <sup>601</sup> <sup>602</sup> <sup>603</sup> <sup>604</sup> <sup>605</sup> <sup>606</sup> <sup>607</sup> <sup>608</sup> <sup>609</sup> <sup>610</sup> <sup>611</sup> <sup>612</sup> <sup>613</sup> <sup>614</sup> <sup>615</sup> <sup>616</sup> <sup>617</sup> <sup>618</sup> <sup>619</sup> <sup>620</sup> <sup>621</sup> <sup>622</sup> <sup>623</sup> <sup>624</sup> <sup>625</sup> <sup>626</sup> <sup>627</sup> <sup>628</sup> <sup>629</sup> <sup>630</sup> <sup>631</sup> <sup>632</sup> <sup>633</sup> <sup>634</sup> <sup>635</sup> <sup>636</sup> <sup>637</sup> <sup>638</sup> <sup>639</sup> <sup>640</sup> <sup>641</sup> <sup>642</sup> <sup>643</sup> <sup>644</sup> <sup>645</sup> <sup>646</sup> <sup>647</sup> <sup>648</sup> <sup>649</sup> <sup>650</sup> <sup>651</sup> <sup>652</sup> <sup>653</sup> <sup>654</sup> <sup>655</sup> <sup>656</sup> <sup>657</sup> <sup>658</sup> <sup>659</sup> <sup>660</sup> <sup>661</sup> <sup>662</sup> <sup>663</sup> <sup>664</sup> <sup>665</sup> <sup>666</sup> <sup>667</sup> <sup>668</sup> <sup>669</sup> <sup>670</sup> <sup>671</sup> <sup>672</sup> <sup>673</sup> <sup>674</sup> <sup>675</sup> <sup>676</sup> <sup>677</sup> <sup>678</sup> <sup>679</sup> <sup>680</sup> <sup>681</sup> <sup>682</sup> <sup>683</sup> <sup>684</sup> <sup>685</sup> <sup>686</sup> <sup>687</sup> <sup>688</sup> <sup>689</sup> <sup>690</sup> <sup>691</sup> <sup>692</sup> <sup>693</sup> <sup>694</sup> <sup>695</sup> <sup>696</sup> <sup>697</sup> <sup>698</sup> <sup>699</sup> <sup>700</sup> <sup>701</sup> <sup>702</sup> <sup>703</sup> <sup>704</sup> <sup>705</sup> <sup>706</sup> <sup>707</sup> <sup>708</sup> <sup>709</sup> <sup>710</sup> <sup>711</sup> <sup>712</sup> <sup>713</sup> <sup>714</sup> <sup>715</sup> <sup>716</sup> <sup>717</sup> <sup>718</sup> <sup>719</sup> <sup>720</sup> <sup>721</sup> <sup>722</sup> <sup>723</sup> <sup>724</sup> <sup>725</sup> <sup>726</sup> <sup>727</sup> <sup>728</sup> <sup>729</sup> <sup>730</sup> <sup>731</sup> <sup>732</sup> <sup>733</sup> <sup>734</sup> <sup>735</sup> <sup>736</sup> <sup>737</sup> <sup>738</sup> <sup>739</sup> <sup>740</sup> <sup>741</sup> <sup>742</sup> <sup>743</sup> <sup>744</sup> <sup>745</sup> <sup>746</sup> <sup>747</sup> <sup>748</sup> <sup>749</sup> <sup>750</sup> <sup>751</sup> <sup>752</sup> <sup>753</sup> <sup>754</sup> <sup>755</sup> <sup>756</sup> <sup>757</sup> <sup>758</sup> <sup>759</sup> <sup>760</sup> <sup>761</sup> <sup>762</sup> <sup>763</sup> <sup>764</sup> <sup>765</sup> <sup>766</sup> <sup>767</sup> <sup>768</sup> <sup>769</sup> <sup>770</sup> <sup>771</sup> <sup>772</sup> <sup>773</sup> <sup>774</sup> <sup>775</sup> <sup>776</sup> <sup>777</sup> <sup>778</sup> <sup>779</sup> <sup>780</sup> <sup>781</sup> <sup>782</sup> <sup>783</sup> <sup>784</sup> <sup>785</sup> <sup>786</sup> <sup>787</sup> <sup>788</sup> <sup>789</sup> <sup>790</sup> <sup>791</sup> <sup>792</sup> <sup>793</sup> <sup>794</sup> <sup>795</sup> <sup>796</sup> <sup>797</sup> <sup>798</sup> <sup>799</sup> <sup>800</sup> <sup>801</sup> <sup>802</sup> <sup>803</sup> <sup>804</sup> <sup>805</sup> <sup>806</sup> <sup>807</sup> <sup>808</sup> <sup>809</sup> <sup>810</sup> <sup>811</sup> <sup>812</sup> <sup>813</sup> <sup>814</sup> <sup>815</sup> <sup>816</sup> <sup>817</sup> <sup>818</sup> <sup>819</sup> <sup>820</sup> <sup>821</sup> <sup>822</sup> <sup>823</sup> <sup>824</sup> <sup>825</sup> <sup>826</sup> <sup>827</sup> <sup>828</sup> <sup>829</sup> <sup>830</sup> <sup>831</sup> <sup>832</sup> <sup>833</sup> <sup>834</sup> <sup>835</sup> <sup>836</sup> <sup>837</sup> <sup>838</sup> <sup>839</sup> <sup>840</sup> <sup>841</sup> <sup>842</sup> <sup>843</sup> <sup>844</sup> <sup>845</sup> <sup>846</sup> <sup>847</sup> <sup>848</sup> <sup>849</sup> <sup>850</sup> <sup>851</sup> <sup>852</sup> <sup>853</sup> <sup>854</sup> <sup>855</sup> <sup>856</sup> <sup>857</sup> <sup>858</sup> <sup>859</sup> <sup>860</sup> <sup>861</sup> <sup>862</sup> <sup>863</sup> <sup>864</sup> <sup>865</sup> <sup>866</sup> <sup>867</sup> <sup>868</sup> <sup>869</sup> <sup>870</sup> <sup>871</sup> <sup>872</sup> <sup>873</sup> <sup>874</sup> <sup>875</sup> <sup>876</sup> <sup>877</sup> <sup>878</sup> <sup>879</sup> <sup>880</sup> <sup>881</sup> <sup>882</sup> <sup>883</sup> <sup>884</sup> |                |                |              |              |

# 3行の概況



※金額については単位未満を切捨て表示しております。

## りそな銀行

|      | 2011年3月期 | 2012年3月期 | 2013年3月期 |
|------|----------|----------|----------|
| 総資金量 | 331,941  | 329,418  | 333,959  |
| 総貸出金 | 172,781  | 171,234  | 174,941  |

※総資金量は、預金、譲渡性預金、金銭信託、年金信託および財産形成給付信託の合算です。  
※総貸出金は銀行勘定、信託勘定の合算です。

|         | 2011年3月期 | 2012年3月期 | 2013年3月期 |
|---------|----------|----------|----------|
| 業務粗利益   | 4,008    | 4,031    | 3,879    |
| 経費      | △ 2,275  | △ 2,226  | △ 2,202  |
| *実勢業務純益 | 1,732    | 1,805    | 1,676    |
| 与信費用総額  | △ 175    | 60       | 295      |
| 当期純利益   | 1,051    | 1,869    | 2,055    |

|            | 2011年3月期 | 2012年3月期 | 2013年3月期 |
|------------|----------|----------|----------|
| 自己資本額      | 16,072   | 16,447   | 16,811   |
| リスク・アセット等  | 136,605  | 124,075  | 124,567  |
| 自己資本比率 (%) | 11.76    | 13.25    | 13.49    |

※2013年3月期の連結自己資本比率は速報値です。

## 近畿大阪銀行

|              | 2011年3月期 | 2012年3月期 | 2013年3月期 |
|--------------|----------|----------|----------|
| 預金(譲渡性預金を含む) | 32,891   | 33,474   | 33,218   |
| 貸出金          | 25,114   | 24,589   | 25,569   |

|         | 2011年3月期 | 2012年3月期 | 2013年3月期 |
|---------|----------|----------|----------|
| 業務粗利益   | 566      | 519      | 519      |
| 経費      | △ 418    | △ 405    | △ 398    |
| *実勢業務純益 | 147      | 114      | 120      |
| 与信費用総額  | △ 84     | △ 61     | △ 59     |
| 当期純利益   | 104      | 165      | 37       |

|            | 2011年3月期 | 2012年3月期 | 2013年3月期 |
|------------|----------|----------|----------|
| 自己資本額      | 1,814    | 1,758    | 1,704    |
| リスク・アセット等  | 14,115   | 13,095   | 12,758   |
| 自己資本比率 (%) | 12.85    | 13.43    | 13.35    |

※2013年3月期の連結自己資本比率は速報値です。

## 埼玉りそな銀行

|              | 2011年3月期 | 2012年3月期 | 2013年3月期 |
|--------------|----------|----------|----------|
| 預金(譲渡性預金を含む) | 103,156  | 106,425  | 110,220  |
| 貸出金          | 63,883   | 64,680   | 66,310   |

|         | 2011年3月期 | 2012年3月期 | 2013年3月期 |
|---------|----------|----------|----------|
| 業務粗利益   | 1,483    | 1,435    | 1,418    |
| 経費      | △ 762    | △ 756    | △ 754    |
| *実勢業務純益 | 720      | 678      | 663      |
| 与信費用総額  | △ 107    | △ 43     | △ 21     |
| 当期純利益   | 348      | 359      | 426      |

|            | 2011年3月期 | 2012年3月期 | 2013年3月期 |
|------------|----------|----------|----------|
| 自己資本額      | 4,439    | 4,396    | 4,287    |
| リスク・アセット等  | 36,681   | 35,240   | 34,409   |
| 自己資本比率 (%) | 12.10    | 12.47    | 12.46    |

※2013年3月期の単体自己資本比率は速報値です。

### 【ご参考】傘下銀行(単体)の合算

合算実勢業務純益は、資金利益が減少したものの、金融商品販売が好調であったこと等から、前期比137億円減少して2,460億円となりました。当期純利益は、与信費用が大幅に改善したことや、税金費用等が減少したこと等から、前期比124億円増加して2,519億円となりました。

|         | 2011年3月期 | 2012年3月期 | 2013年3月期 |
|---------|----------|----------|----------|
| 業務粗利益   | 6,057    | 5,986    | 5,816    |
| 経費      | △ 3,456  | △ 3,388  | △ 3,356  |
| *実勢業務純益 | 2,600    | 2,597    | 2,460    |
| 与信費用総額  | △ 368    | △ 44     | 214      |
| 当期純利益   | 1,505    | 2,394    | 2,519    |

※実勢業務純益は、業務粗利益(信託勘定に係る不良債権処理額を除く)から人件費等の経費を差し引いたものであり、銀行本来の業務活動による利益を表しております。

# 株式の状況



(2013年3月31日現在)



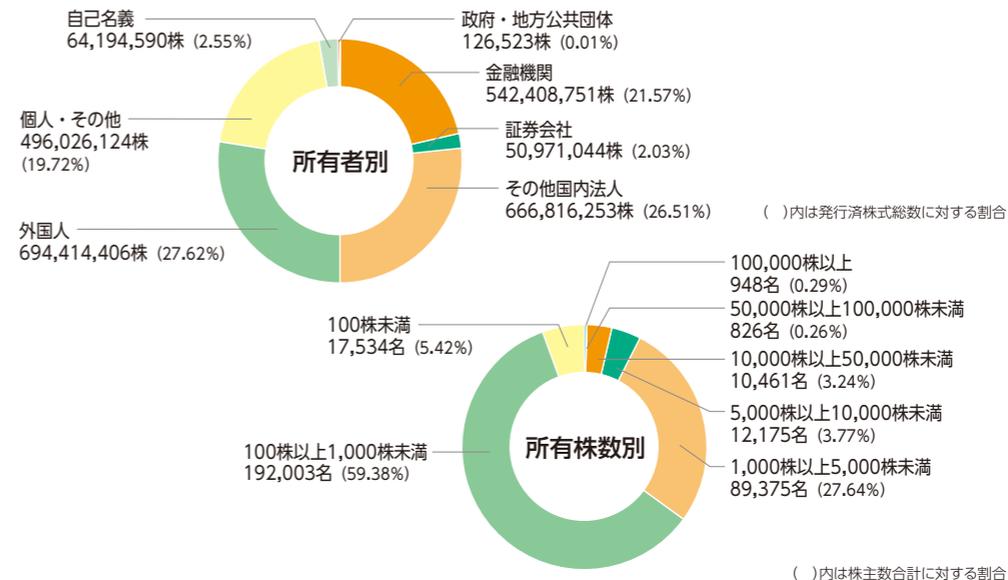
|         |   |
|---------|---|
| 発行済株式総数 | 2,769,477,691株<br>(うち、普通株式2,514,957,691株、優先株式 254,520,000株) |
|---------|---|

|     |               |
|-----|---------------|
| 株主数 | 普通株式 323,322名 |
|-----|---------------|

| 普通株式 | 株主の氏名または名称                                 | 持株数(千株) | 持株比率 (%) |
|------|--|---------|----------|
|      | 預金保険機構                                     | 503,262 | 20.53    |
|      | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                  | 105,986 | 4.32     |
|      | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                    | 90,342  | 3.68     |
|      | 第一生命保険株式会社                                 | 55,241  | 2.25     |
|      | CACEIS BANK FRANCE / CREDIT AGRICOLE SA    | 39,483  | 1.61     |
|      | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)                 | 39,095  | 1.59     |
|      | JP MORGAN CHASE BANK 380055                | 28,794  | 1.17     |
|      | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)                 | 27,320  | 1.11     |
|      | STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225 | 26,646  | 1.08     |
|      | MSCO CUSTOMER SECURITIES                   | 24,590  | 1.00     |

※自己株式を除く

## 普通株式の分布状況



経営理念

「あいだい」

経営戦略  
資本政策

よくあるご質問に  
お答えします。

財務諸表(連結)

3行の概況  
株式の状況

株式事務のご案内  
個人情報のお取扱

|        |  |
|--------|--|
| 決算期    | 毎年3月31日に決算を行います。   |
| 定時株主総会 | 基準日を3月31日とし、毎年6月に開催いたします。  |
| 配当金    | 基準日は3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日といたします。   |
| 公告方法   | 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。<br>ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載します。<br>*公告掲載の当社ホームページアドレス（決算公告も含む）<br><a href="http://www.resona-gr.co.jp/holdings/ir/koukoku/">http://www.resona-gr.co.jp/holdings/ir/koukoku/</a> |
| 単元株式数  | 単元株式数は100株です。  |

### ■ 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

| お手続き、ご照会の内容  | お問い合わせ先          |   |   |
|--|------------------|---|---|
| ●郵便物の発送と返戻に関するご照会<br>●支払期間経過後の配当金に関する照会<br>●株式事務に関する一般的なお問い合わせ | 株主名簿管理人          | 三井住友信託銀行株式会社  |   |
|  | 郵便物の送付先          | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部   |   |
|  | 電話番号             | ☎ 0120-782-031  |   |
|  | インターネットホームページURL | <a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a> |   |
| ●上記以外のお手続き、ご照会等は、右記のいずれかの窓口にお問い合わせください。                        | 証券会社に口座をお持ちの場合   | 証券会社<br>口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。  |   |
|  | 特別口座*の場合         | 特別口座の口座管理機関   | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                       |
|  |                  | 郵便物の送付先   | 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 |
|  |                  | 電話番号  | ☎ 0120-094-777                                      |

※特別口座について 株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主さまには、三菱UFJ信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。  
上記株主名簿管理人とは郵便物の送付先、電話番号等が異なりますのでご注意ください。

株式会社りそなホールディングス（以下、「当社」といいます）は、会社法に基づく株主さまの権利の行使、会社法等関係法令に定める当社の義務の履行および当社の業務の円滑な遂行のため、株主さまの個人情報（氏名・住所・保有株式数等）を利用させていただいております。

当社は、これらの株主さまの個人情報につきまして、適切な保護を重大な責務と認識し、個人情報の保護に関する法律、会社法、その他の関係法令および当社の諸規則を遵守し、適切な保護と利用に努めます。

### 1. 株主さまの個人情報の利用目的について

当社は、直接または株主名簿管理人を通じて株主さまの個人情報を取得いたしますが、これらの株主さまの個人情報を、以下の目的に利用させていただきます。

- (1) 会社法に基づく権利の行使・義務の履行のため
- (2) 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社(下記2.(1)記載の会社をいいます。以下同様です。)から各種便宜を供与するため

- (3) 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する（当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む）ため
- (4) 各種法令に基づく所定の基準による株主さまのデータを作成するなどの株主さまの管理のため

### 2. 第三者提供の制限および事前の同意なく当社子会社に情報を提供する場合について

当社は、法令で認められている場合を除いて、原則として、あらかじめ株主さまの同意を得ることなく株主さまの個人情報を第三者に提供いたしません。

ただし、上記1. 記載の利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報保護法第23条第2項に基づき、株主さまご本人の求めに応じて提供を停止することを前提として、株主さまの同意をいただくことなく、以下のとおり、株主さまの個人情報を当社子会社に対して提供することがあります。なお、当社子会社に対する個人情報の提供の停止をご希望される場合は、下記3. 記載のご連絡先までご連絡ください。

- (1) 当社が株主さまの個人情報を提供する当社子会社
  - 株式会社りそな銀行
  - 株式会社埼玉りそな銀行
  - 株式会社近畿大阪銀行
- (2) 提供する個人データの項目
  - 氏名・住所
  - 保有株式数
  - 株主番号および登録時期に関する情報
- (3) 提供する手段または方法
  - 電子媒体により交付する方法

### 3. 株主さまの個人情報の提供停止についてのご連絡先

電話番号 東京 03-6704-3111 (代表)

大阪 06-6268-7400 (代表)

受付時間 9:00~17:00（銀行休業日を除く）

なお、株主さまから過去に個人情報の提供の停止をご希望される旨のご連絡を頂いた場合には、当社のご連絡を頂いた株主さまの個人情報を当社子会社に対して提供することはありませんので、再度ご連絡を頂く必要はございません。